

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

令和6年度第1回水戸市健康づくり推進協議会

2 開催日時

令和6年5月30日(木) 午前9時57分から午前10時48分まで

3 開催場所

水戸市役所4階 政策会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

田澤重伸, 金澤秀房, 高松孝幸, 篠田多介志, 有川秀男, 二川泰久, 園部優, 山下恵子, 薮喜代子, 上地勝, 村井文江, 藤澤康彦, 鈴木直昭, 永盛早苗

(2) 執行機関

荒井宰, 小川佐栄子, 土井幹雄, 大曾根明子, 堀江博之, 高安克子, 春日剛, 昆節夫, 福田淳子, 成田拓生, 西山拓海

(3) その他

前野哲博

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 意見公募手続実施結果(公開)

(2) 保健医療に係る各個別計画の策定について(答申)(公開)

6 非公開の理由

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。)

8 会議資料の名称

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 保健医療に係る各個別計画の策定について(答申)
- ・ 資料1 水戸市健康増進・食育推進計画(第3次)(案)
- ・ 資料2 水戸市歯科口腔保健推進計画(第3次)(案)
- ・ 資料3 水戸市自殺対策計画(第2次)(案)

9 発言の内容

【執行機関】 皆様おはようございます。

定刻前ではございますが、皆様おそろいとなりましたので、ただいまから、令和6年度第1回水戸市健康づくり推進協議会を開催いたします。

本日は、御多用の折にもかかわらず、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

初めに、本日の会議資料を確認させていただきます。お配りしておりますのは、会議次第、委員名簿、それから答申書、それから資料1から3までの3つの計画の案でございます。過不足等ございましたら、事務局までお申しつけください。

次に、本日は委員20名のうち14名が出席されております。水戸市健康づくり推進協議会第6条第2項の規定により、過半数の出席がございますので、本審議会が成立していることを御報告いたします。なお、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員は、所用のため欠席の連絡を受けておりますので、御報告いたします。

また、本日の審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の規定により公開いたします。会議資料及び会議録につきましては、個人情報等、開示することができない部分を除き、公表することとなっておりますので、あらかじめ御承知をお願いします。

続きまして、委員3名に変更がございましたので、御紹介させていただきます。初めに、_____、_____の_____様でございます。

【___委員】 皆様おはようございます。_____の___と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【執行機関】 _____、_____の_____様でございます。

【___委員】 ___です。よろしくお願いします。

【執行機関】 本日は所用により欠席となっておりますが、_____, _____の_____様でございます。

次に、本日、筑波大学からオブザーバーといたしまして、前野教授に御出席いただいております。

それでは、これより議事に移らせていただきます。進行役の議長につきましては、協議会条例第6条第1項の規定により、___会長をお願いいたします。

【会 長】 それでは皆様よろしくお願いいいたします。まず、議事に入ります前に、議事録の署名委員を指名させていただきます。本日の会議終了後に、議事録を作成いたしますが、その署名人として、___委員、___委員のお二人を指名させていただきます。よろしくお願いいいたします。

本日の議題は、次第にありますとおり、計画への答申などになります。

計画の策定に関わる協議会としては最後となりますので、議事の最後に、皆様から一言ずつ御挨拶をしていただきたいと思います。

それでは議事に移らせていただきます。

初めに、意見公募の結果について事務局からお願いいたします。

【執行機関】 着座にて失礼いたします。

まず、意見公募手続実施結果について御報告いたします。

令和6年4月10日から5月9日まで、広報みやホームページ、市民センターなどにおいて、幅広く周知し、健康増進・食育推進計画、歯科口腔保健推進計画、自殺対策計画の3つの計画についての意見公募を実施いたしました。

意見公募の結果といたしましては、3計画ともに、意見はございませんでした。報告は以上です。

【会長】 はい、ありがとうございます。次に、保健医療に係る各個別計画の策定についての答申を事務局でまとめましたので、事務局から報告をお願いいたします。

【執行機関】 水健推協答申第1号という資料を御覧いただきたいと思います。

こちらは、昨年度から委員の皆様にご意見をいただきながら、計画策定を行って参りました。いただいた御意見等を踏まえまして答申をまとめましたので、御確認をかねて読み上げさせていただきます。

(答申案読み上げ)

【会長】 ありがとうございます。

本協議会といたしまして、この答申書により水戸市長に答申することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会長】 それでは、このように決定させていただきます。

【執行機関】 答申に移らせていただきます。

協議会を代表されまして、___会長から、市長代理として荒井副市長への答申をお願いいたします。

【会長】 水戸市長、高橋靖様。水戸市健康づくり推進協議会、保健医療に係る各個別計画の策定について答申。令和5年8月22日地保諮問第1号によって、当協議会に諮問がありました水戸市健康増進・食育推進計画(第3次)、水戸市歯科口腔保健推進計画(第3次)及び水戸市自殺対策計画(第2次)の策定につきまして、別冊のとおり答申いたします。

この答申に基づく計画の実現及び計画の円滑な推進に向けて、下記事項に十分配慮されるよう要望いたします。

1、水戸市健康増進・食育推進計画(第3次)。

(1) 市民の健康を支える上で、生活習慣病やがんの早期発見・早期治療につながる各種健診の受診率を向上させることは大変重要である。そのため、これまで以上に、関係団体等と連携しながら、健診の必要性についての啓発や受診しやすい環境づくりに取り組むこと。

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るため、がん教育や健康相談、健診後の保健指導のほか、関係機関と連携しながら要精密検査の受診率向上などに取り組むこと。

(3) 食は健康の基本であり、こどもの頃から食の大切さや正しい食習慣が身に付

けられるよう、家庭における食育を推進すること。また、生涯にわたる健全な食生活に向けて、健康教室や料理教室等を通じ、バランスのよい食事や栄養摂取の重要性の啓発に努めること。

(4) 健康無関心層を含め、幅広い世代の方に健康づくりに関心を持ち、取り組んでもらうよう、デジタル技術を積極的に活用し、市民の利便性の向上を図ること。

(5) 健康都市の実現に向け、健康情報に関する市民への周知に一層取り組むとともに、関係団体や事業者など多様な主体との連携により、社会全体で市民の健康づくりを推進すること。

2. 水戸市歯科口腔保健推進計画（第3次）。

(1) 乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの特性を踏まえた取組を推進すること。また、こどもの頃からよくかむ習慣をつけることの重要性を伝えていくとともに、定期的な歯科健康診査の重要性について、学齢期からの普及・啓発を行い、歯科疾患の予防に努めること。

(2) 歯と口腔のケアを適切に行うことが、生涯にわたり全身の健康状態の維持につながることの重要性についての周知に努め、オーラルフレイル予防対策を推進すること。

(3) 健康寿命の延伸を図る方策の一つとして、医療、保健、介護など多職種との連携により、歯と口腔の健康づくりに取り組むこと。

3. 水戸市自殺対策計画（第2次）。

(1) 自殺を考えるような強いストレスや、様々な不安や心配事などを相談しやすい環境づくりを進め、相談窓口の周知方法について工夫すること。また、未遂者支援を含む自殺対策について、様々な関係機関との連携強化を図ること。

(2) 教育委員会等と連携し、児童や生徒が命の大切さや相談することの重要性について学ぶ機会の確保に努めること。併せて、自殺を未然に防げるよう、相談窓口の周知を図るとともに、自殺の要因となるいじめなど、こどもが抱える様々な悩み等に対し、適切に対応できる支援体制を強化すること。

(3) 若者、女性、高齢者、働く世代など、個々人に応じた支援の強化に取り組むとともに、早期の気づきと見守り、居場所づくりなど、自殺に追い込まれることのないよう、包括的な支援に取り組み、必要な支援に繋がられるよう、人材育成に努めること。

【荒井副市長】 ありがとうございます。

【執行機関】 ありがとうございます。それではここで、荒井副市長から御挨拶申し上げます。

【荒井副市長】 本年4月1日に副市長になりました荒井でございます。あらためまして、皆さんどうぞよろしく願いいたします。

本来であれば、高橋市長が御挨拶申し上げるところでございますが、公務が重なり出席がかなわないということで、私から一言お礼の御挨拶をさせていただきたいと思っております。

この度は、___会長をはじめ、委員の皆様、そして、オブザーバーとして筑波大学の前野教授にも御参加いただき、長期間にわたり、熱心な御審議をいただきました。貴重な御意見や御助言をいただき、この計画がまとめられましたことに心から感謝を申し上げます。

人生 100 年時代と言われておりますけれども、生涯を通じて、健康で生き生きと暮らせるまちをつくっていくためには、様々な複雑多様化する健康課題に対応して、こどもから高齢者までの幅広い世代の心身の健康づくりをはじめ、歯や口腔といった健康づくり、そしてまた、自殺対策の強化など、そういったことに今後もより一層力を入れて取り組んでいかなければならないと考えているところでございます。そのためにも、今回取りまとめさせていただきましたこの計画に基づく様々な施策を、皆様方の御協力をいただきながら、全庁一丸となって、全力でこれを実行し、市民の健康づくりを進めていきたいと考えているところでございます。

皆様方におかれましては、今後も引き続き、この計画の推進に御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます、簡単であります、御礼の挨拶とさせていただきます。

長期間御審議いただき、誠にありがとうございました。

【会長】 荒井副市長、ありがとうございました。

この答申をもちまして、本協議会の重要な役割を終えることができました。皆様の様々な立場からの視点による御意見ありがとうございました。

各委員からこれまでの御感想や要望等があれば、一言ずつお願いいたします。

私から時計回りで参ります。

まず私から、不慣れな会長でしたけれども、委員の皆様方の御協力により、無事に重責を果たすことができました。本当にありがとうございました。また一市民として、こういった計画策定に関わることができて、貴重な経験だったと思っております。

協議会はまだまだ続きますので、ぜひとも皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

【副会長】 ____です。副会長の任をいただいておりますけれども、なかなかそのようなことができたかということをお問いただされると、そこまでできなかったかなと思っておりますけれども、このような機会をいただき、やはり自分も含めた市民の健康を考え、また、計画策定に関わられたこと本当に有り難く思っております。

私自身、看護を専門としておりますので、引き続きこの計画を実施する一員としても、尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

【__委員】 委員の__でございます。私は____という立場から協議会に参加させていただいております。様々な御意見並びに施策に関しまして、私からもいろいろと要望等を出させていただきながら、協議会で、健康づくりに関して、やはり今後とも市民のために、我々も健康づくりに対してしっかりと取り組んでいくことと、水戸市と協働した事業もたくさんございますので、引き続き、施策含め、邁進していきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

【__委員】 _____の__です。ちょっと残念だったのは、先ほど意見公募の中で意見がなかったというお話がありましたけれども、やはり市民の方に、いかにこういうものを周知させていくかということと、あともう一つ、市民の方にいかに関心を持ってもらうかというのが非常に難しいなというのを改めて感じました。

私、水戸市の巡回健診の健診機関として参加させていただいておりますけれども、やはりこのような計画の中でも、どうしても受診率というのが指標になってきますので、市町村はじめ、皆さんが大変苦勞されている中、取り組んでいるのを分かっております。水戸市も今年度もいろいろな取組があつて、健診受診率を少しでも増やそうということで、それには我々健診機関も、やりくりして何とか応えていきたいと思つておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ありがとうございました。

【___委員】 _____の___と申します。

自殺対策については、なかなか皆さん関心がないといつてはおかしいですけども、関係機関が少ないということで、私もなるべく発言をさせていただこうかなということで、参加させていただきました。水戸市は若干自殺が増えているということで、ちょっと残念に思つているんですけども、パワハラとかいろいろ問題があるとは思ひますが、皆さん興味関心を持っていただいて、これから少しでも減つていくような形になればいいなと思つております。

今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。

【___委員】 _____の___と申します。今回からの参加ということで、この3つの計画につきましては、これまで皆さんの協議において作り上げていただいた計画ということで、内容については、感想とか意見というのは申し訳ないのですが、ありません。

せつかくですので、_____でも各市町村の国保主管課、それから介護保険課、それから高齢者医療の担当の部署と、つながりを持たせていただいておまして、_____の内部にも保健事業課という部署がありまして、各市町村の国保主管課等で作成するデータヘルス計画の作成、それから取組に対する、_____内部に保健事業支援・評価委員会という、会員の皆さんで構成していただけてる委員会がありまして、その先生方の意見を集約して、各市町村にお送りしたり、それから特定健診の受診率向上に向けたお手伝い、重症化予防のお手伝い、それから特定健診の実施者研修会、保健師の方向けの研修会などを開催させていただいております。国保というのはどんどん被保険者が減つておまして、被保険者に限らず人口が減少しておりますので、これまで_____としては国保、介護、高齢者メインにやってくるんですけども、保健の壁を越えて、健康づくりに協力していけたらなと思つております。何か御協力できることがありましたら、参加させていただきたいと思ひますので、声をかけていただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【___委員】 私は、_____から選任されて出席させていただいております。

先ほど副市長から人生100年時代というようなお話がありましたけど、各市民センターでの健康診断の割合が若干少ないのかなど。健康ということは健診、診察が大事だと思います。より一層健診者が増えればいいと思つております。

また先ほど自殺の関係でお話がありましたが、私も学校関係に長く携わつておりましたので、この自殺も本当に大変な課題だと思うのですが、いじめるのが悪いのか、いじめられるのが悪いのか。よくこういうお話を聞くと、いじめられるのは悪いんだよと、言つたら言い返しなさいという言葉をお聞きするのですが、言えない

からいじめられるわけで、そのような方の親御さんになってみれば、大変な苦痛感、こどもにも大きな苦痛感ですが、そういうことで自殺が絶えないのかな。もうちょっと、先生たちがこどもを見る目を、もう少し教育ばかりじゃなくて、個人個人の性格、精神を見て指導されればいいのか。そういうことで、いじめられるほうの味方になって、もう少し課題を済ませていただければ幸いですので、よろしくお願ひ申し上げます。以上です。

【____委員】 _____の____の____でございます。よろしくお願ひいたします。

_____としましては、アクサ生命さんと今連携をして、健康経営の認定を受けるようにということで、会員企業の皆様に推奨しております。実は当社も今年度健康経営の認定を受けまして、_____としては、やはり従業員の方々の健康というものに重点を置いて、皆さん健康で元気に活動されるから企業が成り立っているという考えの下で活動をさせていただいておりますので、_____としても、健康という部分については、かなり関心が高いと考えております。

それと、かなりボリュームの多い計画書ですけれども、やはり重要なのが実施をどのようにしていくのかということ。それから、やはり計画終了の段階においてきちんとその内容の検証をして、目標が達成できなかったら、例えばですけど目標が高すぎたのではないかとか、あるいは手法が間違っていたのではないかとこの検証をして、次の計画の立案に対してある程度のその意見をきちんと取りまとめて、次に引き継いでいくということが一番重要なのかなと思いますので、私もこの策定に関わった一員として、しっかりとこの計画の実施推移を見守っていきたく思います。

以上でございます。ありがとうございました。

【____委員】 _____の____です。今回初めて参加をさせていただきました。

健康づくりという中の一つの大きな基礎的なものには、やはり食べ物、食材だと思います。その中でその食材について、今、日本の自給率は38%で、ほとんどが海外から輸入されているわけでございます。その中で特に小麦ですけれども、コンビニでは日本で大体650万トンほど消費されるんですけども、そのうち600万トンくらいが海外産となっています。ところがその小麦ですけれども、ここ数年前から、収穫前に除草剤を振って、それを日本が輸入している形態になってしまっています。日本人の多くの髪の毛を調べますと、その成分が残っているというのが今の実態でありまして、本当に海外産、特にアメリカ産の小麦は非常に危険な状態にあるのかなと思っております。これを何世代も繰り返すと、やはり弊害が出てくるのかなと。

それと、特に牛肉につきましては、早く育てるために成長ホルモンが使われています。これはヨーロッパでは全然輸入されていないんですけども、日本はそれを許可しております。そしてオーストラリアですが、オーストラリア産は良いと思うんですけども、実はオーストラリア産につきましても、ヨーロッパに輸出するものについては使っていないんですけども、日本に対しては、成長ホルモンを使ったものを輸出し、日本はそれを輸入しているという状況でございます。

食べ物と日本の貿易関係ですけれども、やはり日本の今の自由経済、日本の産業の中でどうしても、食材を犠牲にして、そのような貿易が成り立っている世の中におきまして、特に外国のグローバル企業が都合のいいように、企業がもうかるような

状態で農薬とか、また品種改良、特に遺伝子組み替えのものを作りながら、日本に対して圧力をかけ、日本はそれに対して国のほうが全く拒絶できないような状態が今の実態でございます。

そのような中におきまして、日本においては、2050年度までには日本の国土の4分の1を有機農業にしようという方向でありますけれども、現在はたったの0.6%です。これを少しでも広めなくてはならないというところがございます。

そのような中において、特にお米もそうなんですけれども、実はネオニコチノイド系の農薬をかけた、カメムシの被害が非常にあるんですけど、非常に効果があるものですから、その薬をよくかけます。日本人のこどもたちの尿を検査しますと、8割くらい薬の成分が出てくるというのが実態でございます。それを例えばねずみ等を利用して、何世代か後を見ますと、何世代か後にはやっぱり障害が出てくるということです。ですから、本当に何世代か後のこどもたちに対しての健康、そして、これからの日本人の健康に対して非常に危惧するところがございます。

そういった中におきまして、_____としましても、昨年度から有機農業を取り入れています。持続可能な食材を供給するために少しでも安全・安心なものを供給する方向でこれから進みたいと思いますので、もし、そのような有機農産物等が出ましたら、積極的にそれらを、高いものではなくて、やはりこういうものが必要なんだなという思いから買っていただきたいと思います。

以上です。

【____委員】 _____の____と申します。

食生活改善のため健康料理や食事のバランス、栄養摂取など、地域にわたってずっと私自身、40年以上ボランティア活動をやってきました。その間、中学生や幼稚園生と一緒にいろいろ料理をしたり、楽しくやってきたのですが、コロナの関係で、最近はできないでおり、時代とともに、本当にいろいろ変わってきました。また、集まってくださる方もかなり高齢になってきましたので、若い人は一生懸命聞くんですが、年を取った人はもうそんなに先がないので、なんでもかまわないという人が、お料理の時間で長く立っているのが疲れるのであるという声も聞かれるようになりました。

なんとか食を通して一生涯健康で元気ということを目指して私たちはやっていますけれども、地域に入ってから活動がまた本格的に始まっていますが、いろいろそんなこと言わないで、死ぬまで元気でピンコロで参りましょうという話をみんなで笑いながら、それが一番だよと楽しみながら和やかにやっております。また今年も楽しくやっていきたいと思います。

この委員にさせていただいて、私たちのやっているこのバランスのよい食事とか、健康料理とか、こどもに向けてということで、私たちはその地域に根ざしてやっていますけれども、自分もおかげさまで元気になりました。それでまたこの会の仲間に入れてさせていただいて、大変参考になり、勉強になり、またJA様のお話を伺って、私も食の安全が今一番心配なんです。それはいろんな横浜の荷物が上がるころとか、食品工場とかも見学させてもらって、とても感じる場所があります。

あとはカット野菜です。スーパーに行くと、売ってる野菜をみんな若い人が買っていくのですが、あのカット野菜は薬漬けの中に入って、そのまま袋詰めにされて

いるということで、それは洗えばいいんですが、それを洗わないで、とにかく薬漬けのプールの中の野菜。野菜の切り口がきれいなのに、みんな不思議に思わないんですかねというお話も聞いたことがあります。だから、食の安全というのは、これから、いろいろ残留で体に残らないようにしていくのには、どうしたらいいか。本当にそのようなところも勉強だと思います。

それと塩分。茨城県も、毎月20日は「いばらき美味（おい）しおDay」ということで進めていますけれども、県知事は、毎月20日だけでなく、今は、県庁にあるひばり食堂は塩分を全部控えたそうでございます。塩分を控えても、誰も何も言わないで食べるのだからあんまり感じないのかなということで、全然関係ないみたいなので、ずっと今塩分控え目のままやっているそうです。

とにかく長い間やってきたんですが、このまま、塩分控えめ、食は命の源ということで、健康寿命の延伸ということを目標にやっていこうと思っています。

ありがとうございました。

【___委員】 _____の___でございます。健康増進のところで、健康を支える活動を私たちもしています。健康づくりのために、健診のPR、それから健診会場でのお手伝い支援、そして乳幼児から高齢者まで、地域の住民を見守り、コミュニケーションを取りながら、問題のあるような方については、情報を保健所へ連絡するという活動を行っております。

健診の受診率については、もう毎年のように、水戸市は受診率が低いから頑張ってくださいと私たち言われるんですけど、これ以上どう頑張るのかなと思っていましたら、今年から市長が言うのには、健診の費用がワンコインになりましたということで、かなり金額を抑えて、県下でも、本当に安いほうで、健診が受診できるということで、それを理由に受診率を上げてくださると、昨日市長がおっしゃってましたので、そこを強調してやっていきたいと思っています。

水戸市を含めて、茨城県全体は健康寿命は長いほうですけど、平均寿命はどうですかね。やはり食生活とか食べ物によって、平均寿命がちょっと影響する。そして生活習慣病、これは普段の生活、食生活で規則正しい生活、その辺が影響しているのではないかな。そこを意識しながら、さらに健康管理のために健診をすると、それを上手につなげて、さらに私たちも地域とのコミュニケーションを取りながら、活動に励んで参りたいと思います。

本年度もどうぞよろしく願いいたします。

【___委員】 _____の_____と申します。

この健康づくり推進協議会の所管といいますか、文教福祉委員会を担当しております形で、_____は本日は欠席でございますけれども、_____と私のほうで参加させていただいております。

今回の計画に関しましては、やはり5年というスパンで今後実行されていくわけなんですけれども、やはり私どもとして、私も含めですけども、ぜひ5年間を見守っていただきまして、その中で評価をして、次の2029年の計画がまたやって参ります。その時に、同じメンバーでできるということもないのかもしれませんが、ですけども、なんて言いますか、関心というのは必要なのかなと思います。

私自身は実は肺がん患者でございまして、ステージ0の患者でございまして。選挙

いただいております，筑波大学の前野先生から御意見をいただきたいと思ひます。

【オブザーバー】 皆さんの充実なディスカッション本当にありがとうございました。また非常にボリュームのある答申を見させていただきまされたけれども、それぞれの現状に基づいて、非常に現実的で、かつ効果的な提案がたくさん上がっているのではないかなと感じております。

ただ皆さん、十分理解されておられると思ひますが、あくまでこれからですので、目標を立てた計画が絵に描いた餅にならないようにしていくことは非常に重要だと思ひております。目標値も、この対策をすれば、ここに到達できるという根拠というのはあまりはっきりしたものはなくて、どちらかというと、現実的な可能性といわゆる願望みたいなもので設定されている。それはやむをえないと思ひんですけれども、それを今度は実行に移していく中で、達成できたものは、なぜ達成できたのか。そして達成できなかったものはどこに原因があったのか。次はどういうことを課題に挙げていけばいいのかという、モニタリングと評価というものが非常に大事になってくるのではないかなと思ひます。

こうやって一つの計画にまとまったことで、その現状を誰でも見渡すことができ、なぜこのような目標が立てられるのかということ非常に分かりやすく示せたという意味で非常に大きな一歩だと思ひますけれども、これから、今後この計画が終わった時に、ほとんどに達成の丸がつくような、そういう形で水戸市の皆様も頑張ってくださいと思ひますし、我々としても、何か専門的な立場からお手伝いできることがあれば、御協力したいと思ひております。

本当にありがとうございました。

【会長】 ありがとうございます。

それでは最後に、その他について、事務局から何かございましたら、よろしくお願ひします。

【執行機関】 それでは、今後のスケジュールについて御連絡させていただきます。今後につきましては、6月下旬に市役所内での庁議において、決定を経て、7月に議会に報告し、その後公表となり、製本された計画書を皆様に送らせていただきたいと存じますので、御承知お願ひします。

なお、次回の協議会につきましては、令和7年度の前半の開催とし、計画の進行管理について御報告させていただければと存じますので、よろしくお願ひいたします。事務局からは以上です。

【会長】 ありがとうございます。

それでは、私の進行はここまでとさせていただきます、事務局にお返ししたいと思います。委員の皆様におかれましては、会議の円滑な運営に御協力いただきまして、ありがとうございました。

【執行機関】 以上をもちまして、令和6年度第1回水戸市健康づくり推進協議会を終了させていただきます。長期間にわたって御審議をいただきまして、本当にありがとうございました。